

開局10周年特別番組

北斎ミステリー

～幕末美術秘話 もう一人の北斎を追え～

12月9日(土)よる8時～9時54分

天才絵師、葛飾北斎が残した多くの謎…その先に見えたものとは？ もう一人の北斎の存在に迫る、本格知的美術ミステリー

日本BS放送(代表取締役会長兼社長 齋藤 知久、本社:東京都千代田区 以下、BS11)は、BS11開局10周年特別番組「北斎ミステリー～幕末美術秘話 もう一人の北斎を追え～」(12月9日土曜よる8時～)を放送します。

晩年になっても衰えることなく、進化し続ける画力と圧倒的な色彩感覚を誇った天才絵師・葛飾北斎。彼の作品には、鎖国時代ご法度だった西洋美術の技法を巧みに取り入れた痕跡が…。いったいなぜ？番組前半では、北斎の筆の跡を科学的に検証し、北斎に纏わる謎を紐解いていきます。番組後半では、北斎の娘・お栄に焦点を当てていきます。画号は「応為」。父に匹敵する才能を持つと言われていますが、その作品はわずか数点しか発見されていません。二人が残した作品、そして数多くのミステリーを追うなかで見えてきたのは、父と娘の絆の物語。オランダ・ライデンに所蔵される作品をはじめ、貴重な北斎作品を徹底取材し、国内外の専門家と共に、その名を隠し生き続けた天才女流絵師・お栄の失われた実像に迫ります。

©2017「北斎ミステリー」製作委員会:BS11/TOKYO MX/ひかりTV
制作協力:ドキュメンタリージャパン

番組概要

■タイトル:開局10周年特別番組

「北斎ミステリー ～幕末美術秘話 もう一人の北斎を追え～」

■放送日時:2017年12月9日(土)よる8時～9時54分

■ナビゲーター:内田恭子

■出演:安村敏信(信州小布施北斎館館長)

キャサリン・ゴヴィエ(「北斎と応為」著者) ほか



内田恭子



安村敏信



キャサリン・ゴヴィエ

※本番組は TOKYO MXとひかりTVとの共同制作番組として放送します。

ひかりTVでは、BS11放送後より4K独占配信スタート！(HD画質でも提供/提供開始は2017年12月中旬を予定)

TOKYO MXでは、2018年1月に“エムキャスト”配信と併せて放送決定！

【本BS11ニュースに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社 編成局 マーケティングコミュニケーション部 広報グループ

TEL: 03-3518-1921 / FAX: 03-3518-1880

ながしま ゆか

■番組の見どころ プロデューサー:長嶋有香

2017年はまさに“北斎”イヤー。

大英博物館を始め、国内外で北斎関連の大型美術展がいくつも開催されています。出版界でも北斎にまつわる特集本が数多く発売され、その盛り上がりは北斎ブームへと成長しています。

そんな北斎ブームが巻き起こる2017年12月、BS11は開局10周年を記念した特別番組として「北斎ミステリー～幕末美術秘話 もう一人の北斎を追え～」を放送いたします。

北斎とその娘・応為の貴重な作品を、オランダ、フランスを始めとする国内外の著名な美術館で徹底取材し、応為についての大胆な仮説を小説にして注目を集めている作家・キャサリン・ゴヴィエ氏とともに、北斎と応為の作品への新解釈を披露します。

◇北斎にまつわる“謎”

北斎が影響を与えたモネやゴッホなど印象派画家との関係を解き明かし、昨年オランダで新発見された北斎の水彩画を始めとする北斎の貴重な作品を徹底取材。

北斎と西洋絵画との関連など、「北斎に纏わる」謎を紐解いていきます。

◇実の娘・応為にまつわる“謎”

実の娘であり、フェルメールやレンブラントと並び称される「光の画家」と言われる天才女流絵師・応為。

彼女にスポットを当て、安村敏信館長(信州小布施北斎館)

そして、小説「北斎と応為」の著者キャサリン・ゴヴィエ氏とともに北斎作品と知られるあの名画の新解釈を披露。

そこから見えてくる「父と娘の絆」にも迫ります。

◇国内外の著名美術館を徹底取材！

オランダ・ライデン国立民族学博物館、フランス・ジヴェルニーのモネの邸宅、あべのハルカス、小布施北斎館、国立西洋美術館、太田記念美術館、長崎歴史文化博物館 ほか、北斎、応為の貴重な絵画を所蔵する国内外の美術館を取材します。

葛飾北斎 「神奈川沖浪裏」



制作年: 1829年-1832年

葛飾応為 「吉原格子先の囃」



制作年: 1818年-1860年頃
所蔵: 太田記念美術館

■キャサリン・ゴヴィエ プロフィール



元ペン・カナダ会長。

Canada's Marian Engel Award For Woman Writer(1997)、Toronto Book Award(1992)を受賞。2003年、代表作Creationがニューヨークタイムズ紙ノータブル・ブックの一冊に選ばれた。

優れた色彩感覚と画才を持ちながら、北斎の影のように生きた娘・応為に興味を持ち調査を始める。

彼女が書いた小説「北斎と応為」(彩流社)は、世界・国内の美術界に改めて応為の存在を認識させるきっかけにもなった。

【本BS11ニュースに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社 編成局 マーケティングコミュニケーション部 広報グループ

TEL: 03-3518-1921 / FAX: 03-3518-1880